

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立障害保健福祉センター						
指定管理者	社会福祉法人友愛十字会						
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 12 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	-
施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	117	0	28	0	28		0	145
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		14	12	17	15	15		

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
通所事業登録者数（人）	90	101	104	114	120	定員：生活介護50人 ※令和5年度に40人から拡大 就労継続支援B型40人 放課後等デイサービス20人
短期入所（人）	1,760	1,995	2,220	2,389	2,564	定員7人
講座・講演会参加者数（人）	946	1,132	1,089	934	1,109	

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
経費実績	収入	1,056,614,004	1,118,980,833	1,191,395,461	1,245,484,080	1,378,248,568	
	指定管理料（清算後）	809,221,313	836,795,978	890,853,104	893,855,605	988,837,660	
	利用料金収入	243,673,102	275,642,911	284,756,231	320,529,153	354,478,007	
	その他収入	3,719,589	6,541,944	15,786,126	31,099,322	34,932,901	事業収入
	支出	1,043,041,387	1,099,630,353	1,157,094,297	1,210,946,394	1,353,095,102	
	職員人件費	520,051,141	545,303,956	594,415,279	647,716,334	789,633,858	
	光熱水費	45,319,410	59,927,018	52,172,318	51,274,436	51,736,967	
	修繕費	14,783,090	11,922,973	15,600,000	13,894,416	23,000,000	
	事業運営費	362,597,743	378,131,988	391,017,187	393,037,643	382,351,213	
	施設管理経費	93,037,003	97,091,418	96,636,513	97,770,565	99,120,064	
	その他経費	7,253,000	7,253,000	7,253,000	7,253,000	7,253,000	
	差引収支額	13,572,617	19,350,480	34,301,164	34,537,686	25,153,466	
年度協定書で定める指定管理料	843,850,939	843,125,852	895,265,550	893,988,871	1,018,881,529		

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					84 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	事業計画に基づき多岐にわたる障害者向けの各種事業を滞りなく運営するとともに、利用者から高い評価を受けることができた。民間事業所では受入れ困難な強度行動障害や医療的ケア、支援困難事例を多数受け入れる等、区の障害サービスのニーズに最大限対応した。さらに、各種のまつり等を通じて、地域社会との積極的な交流による障害者の社会参加の促進を図った。また、新規の取組として、外部販売のキャッシュレス決済導入、理美容提供事業、「サポートブック」の作成等、様々な障害者支援の事業に取り組んだ。防災関係では、区としても初めての試みによる福祉避難所開設訓練等を実施して、避難所として有効に機能するための必要な備えを一層強化した。上記のほか、分館設置や大規模改修に係る事前準備について港区と十分な連携を図り、遺漏なき準備等に取り組んだ。
区（施設所管課）による評価	障害者向けの複合事業施設として、事業計画に基づいた適正な運営がされました。区立施設として、これまでに引き続き強度行動障害・医療的ケア・支援困難事例の積極的受入に尽力しています。区施策である分館設置や大規模改修に向けて、改修図面の検討や巡回バス運営見直しの検討、地活利用者への説明など区と連携して大変丁寧に対応しました。また、課題であった工房アミの利用者受入に関して、送迎バス増車、多目的室の改修提案などに取り組みました。一方、利用者の受入れや安定的な支援のため、工房アミ・放課後等デイサービスの欠員解消に向けた人材確保など継続的な取組が必要です。安定的施設運営に加えて、送迎バスや通所事業の利用者増などの課題について、区との共有に留まらず改善に向けた積極的な提案や主体的な取組着手を期待します。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）